

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小	上回った	上回った	上回った	下回った	上回った	下回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小	5-B	7-C	7-B	4-A	5-A	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
榛沢小		3	0		1	0
埼玉県		1	0		1	0

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		榛沢小	埼玉県	榛沢小	埼玉県	榛沢小	埼玉県
深谷の子どもの誓い	・将来の夢や目標を持っている	96.1	91.2	85	82.5	90.4	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	88.5	79.3	75	77.6	95.3	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	84.7	75.9	80	77.6	90.5	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	80.8	78.5	75	82.4	100	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	84.7	82.7	80	86.7	100	85.1
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	57.7	47.8	25	46.2	61.9	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	73	55.6	90	58.8	85.8	60
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	11.5	31.4	25	24.9	19	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	61.5	75.2	90	77.4	52.4	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	80.8	73.5	70	71	66.6	61.6
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	73.1	73.3	75	69.3	85.7	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	88.5	82.1	80	80	95.3	82
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた(2項目の平均として)	17.3	16.9	20	16.7	19.1	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	34.6	23.1	40	25.8	47.6	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	96.1	84.8	90	88.7	90.4	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	96.2	92	90	92.9	100	93.7
	・学級での生活は楽しい	96.2	94.8	85	92.5	100	91.6

【質問紙分析】

- ・「自分からはっきり挨拶をすることができる」の項目がどの学年も県の平均と比較して高い。あいさつの4つの合言葉「目を見て、相手に聞こえる大きな声で、はっきりと、誰にでも何度でも」を意識し全校で取り組んできたことが理由であると考えられる。
- ・「休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している（塾等を含む）」の項目がどの学年も県の平均と比較して高い。令和4年度から家庭学習の取組を見直し「榛沢小学校 家庭学習のすすめ」を作成し、各家庭、児童に周知したことが理由であると考えられる。
- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」の項目がどの学年も県の平均と比較して高い。タブレットを学校からの連絡手段として日常的に活用していることが理由であると考えられる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・本時の学習の目標を明確にした授業実践を行った。
- ・家庭学習の定着を図った。文字は丁寧に書かせ、算数は丸付けまで行うことを指導した。

【国語】

- ・語彙の定着を図るために、「意味調べ」を行った。
- ・物語文、説明文の読み取りを丁寧に行った。

【算数】

- ・授業の中で、個々に練習問題を行う時間の確保を行った。また、自力解決の時間を授業の中で確保し、自分の考えをノートに書く時間を大切にした。

一人一人をより伸ばすための取組

【国語】

- ・今年度の学校研究課題である説明文の授業の型を全校で統一し、繰り返し丁寧に読む学習に取り組ませる。また、語彙の定着を図るために、「意味調べ」にも取り組ませる。
- ・読書習慣を身に付けさせるため、全校で年間3回、読書月間を設け本(活字)に触れる機会をつくとともに、学校図書の入替をすすめ、読書意欲の向上を図る。

【算数】

- ・授業の中で、自分の考えを書く時間、個々に練習問題に取り組む時間の確保をする。
- ・ドリルパークを活用し、個々の課題に応じた問題に取り組ませる。